

施工情報化

11年度活用は1.6倍増

総合評価加点などで導入促進

国土交通省がまとめた「プロセス」では準備作業で「非効率化している」の活用工事件数は、前年度から1.6倍増の658件だった。工種の内訳では土工（河川、道路）が402件と引き続き大半を占め、舗装工が107件、その他（砂防・海岸土工、維持修繕・造成など）が59件。作業全体で「効率化した」との回答が多かった一方、作業

国士交通省がまとめた「プロセス」では準備作業で「非効率化している」の活用工事件数は、前年度から1.6倍増の658件だった。工種の内訳では土工（河川、道路）が402件と引き続き大半を占め、舗装工が107件、その他（砂防・海岸土工、維持修繕・造成など）が59件。作業全体で「効率化した」との回答が多かった一方、作業

から71回に、トータルステーション（TS）出来形が225回から372回にそれぞれ増加した。実用化検討技術についてはMC・マシンガイダンス（MG、ブルドーザ）が36回から45回に、MG（バックホウ）が20回から40回に増えたが、TS・GNSS締め固めは90回と前年、前々年度と同水準で推移。確認段階技術のうち、TS出来形（舗装）が11回から39回に、その他が17回から32回に増えている。

すべての技術の導入目的に「総合評価での加点」「工事実績での加点」が導入目的に挙がっており、施工者に対してインセンティブを与えることが普及推進策として有効と分析している。

施工品質（精度・均一化）について、施工者と監督・検査職員ともに大半が「向上した」と回答。工事成績評定でも「出来形・出来栄」（品質含む）で高く評価される技術が多かった。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| ⑬建設工業 | | |

平成24年8月9日(朝)・夕) P 2